

2019年11月20日

電源開発株式会社

福井県あわら洋上風力発電事業における環境影響評価の開始について ～洋上風力発電所の開発可能性を調査～

電源開発株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：渡部 肇史、以下「Jパワー」）は、福井県あわら市沖において、洋上風力発電所の開発可能性を確認すべく、環境影響評価における計画段階環境配慮書の縦覧を開始しました。

本年度より施行された「再エネ海域利用法（注1）」に基づき、現在、風力発電事業者を公募で選定するエリア（促進区域）の指定に向けた検討が国により進められているところですが、本海域は風況も良好であり、水深も比較的浅いことから、洋上風力発電所の有望な候補地点のひとつと考えております。

また、当地域においては、2011年より陸上であわら北潟風力発電所の運転を開始しており、これまで同様、地域の方々をはじめとする関係者のご理解を得ながら、洋上風力発電所の開発可能性調査を進めて参ります。

Jパワーは、国内第二位の規模を誇る合計出力約45万キロワットの風力発電設備を有しており、2018年6月に再生可能エネルギー本部を設置し、水力・地熱などを含めた再生可能エネルギー拡大に向けた取り組みを強化しています。洋上風力発電については、北九州市沖洋上風力実証設備の建設・運営に携わるとともに、同地区港湾区域での事業化調査や英国 Triton Knoll 洋上風力事業に参画し、知見を蓄積して参りました。また、洋上風力発電の導入ポテンシャルが大きい一般海域（注2）においても、本年度より長崎県西海市や北海道檜山エリア沖で海底地盤調査や海底地形調査を、それぞれ開始したところです。

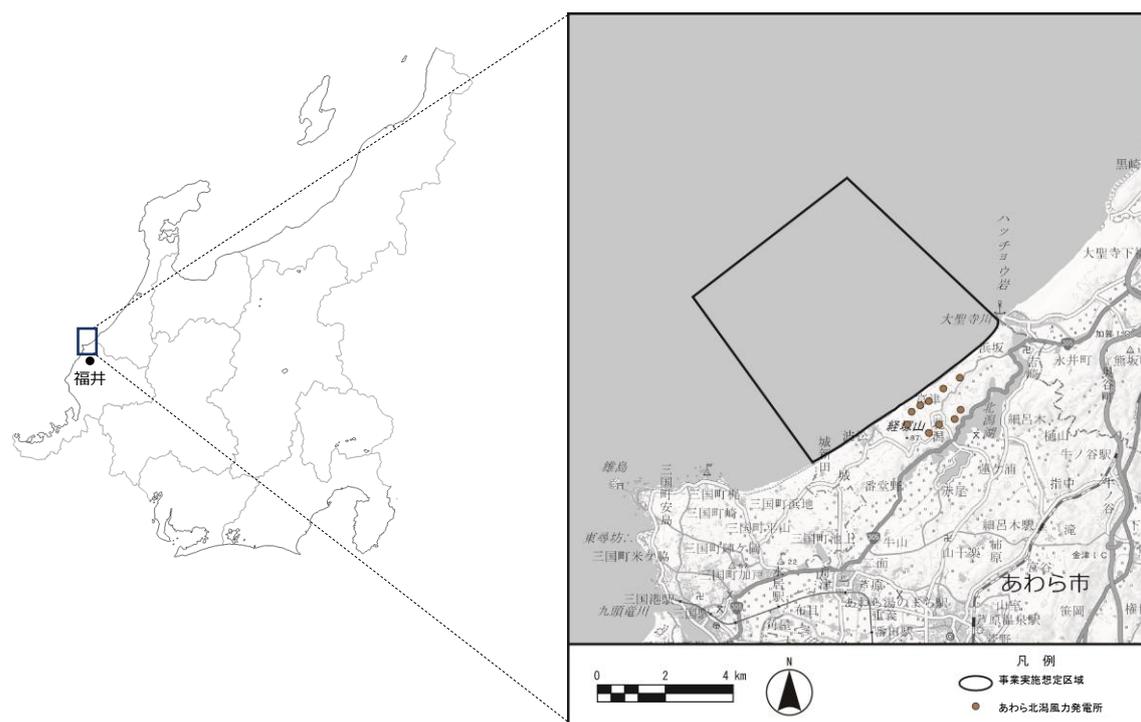
これからもJパワーは、国内外で培った知見や経験を活かし、洋上風力をはじめとした再生可能エネルギーの開発を推進していきます。

（注1） 再エネ海域利用法：海洋再生可能エネルギー発電の整備に係る海域の利用の促進に関する法律のこと

（注2） 一般海域：領海・内水のうち、漁港、港湾区域などを除く海域

【参考】事業概要と事業実施想定区域の位置

事業の名称	(仮称) 福井県あわら洋上風力発電事業
事業実施想定区域の所在地	福井県あわら市沖の一般海域
原動機の種類	洋上風力 (風力発電機)
予定出力 (規模)	最大 350,000kW 程度



- 今回縦覧を開始した計画段階環境配慮書は、当社 Web ページからもご覧いただけます
<http://www.jpowers.co.jp/sustainability/environment/assessment/wind.html>